

# 社協会員推進事業

「社協会員」とは社協の理念や地域福祉の取り組みに賛同いただき、必要な財源を支えてくださる方です。一人でも多くの方のご加入によって住民相互に支え合う福祉力の向上が図られると考え、毎年度、住民・団体・事業所などの皆さまに募集をしています。社協会員会費は、社協の福祉活動事業の財源として、また、各区に地域福祉活動助成金として活用されます。



## ○会員の種類

- ふくし会員            1口～     500円
- 応援会員            4口～     2,000円
- ふーちゃん会員    10口～    5,000円

令和4年度から会員の名称が新しくなりました♪

## 推進状況

	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
件数	14,299	14,007	14,458	14,676	13,772
口数	19,915	19,850	20,744	20,961	21,051
金額	10,671,585	10,633,935	11,083,060	11,215,482	11,317,776

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
件数	13,486	13,457	12,943	12,528	13,406
口数	20,412	20,276	20,252	20,677	21,255
金額	11,330,076	11,321,726	11,241,691	11,209,270	11,498,870

一人でも多くの方にご理解とご協力をいただけるよう、説明や啓発を続けてまいります。



# 大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

地域福祉を総合的かつ計画的に推進していくために「地域福祉計画」があり、社会福祉協議会の活動計画として「地域福祉活動計画」があります。大野城市では、市と社協が連携して地域福祉を推進していくために、この2つの計画を一本化した「大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画」策定しました。

本計画は、平成27年度から平成29年度までが第1期、平成30年度から令和2年度までが第2期、そして現在第3期計画のもと10の重点事業に取り組んでいます。

## ○第1期計画重点事業（平成27年度～平成29年度）

重点事業	<ul style="list-style-type: none"><li>(1)市民への福祉教育を進めよう</li><li>(2)福祉ボランティアへの福祉教育を進めよう</li><li>(3)学校での福祉教育を進めよう</li><li>(4)次世代と地域からの参加を増やそう</li><li>(5)ボランティアの多機能化を図ろう</li><li>(6)地域見守り活動を実践しよう</li><li>(7)民生委員・児童委員の活動を知ろう</li><li>(8)その人らしさを大切にされた権利擁護のシステムを創ろう</li><li>(9)一生の暮らしを守ろう</li></ul>
------	--

## ○第2期計画重点事業（平成30年度～令和2年度）

重点事業	<ul style="list-style-type: none"><li>(1)「ふくし」を知るきっかけづくりと理解の促進</li><li>(2)学校と地域をつなぐ「福祉教育共同推進事業」の展開</li><li>(3)出番を生み出す参加の機会の提供</li><li>(4)地域と響きあうおおのじょうボランティアセンターの強化と充実</li><li>(5)地域見守り支援活動における連携の強化</li><li>(6)緊急時に備えたネットワークづくり</li><li>(7)日常生活自立支援事業の拡充</li><li>(8)法人後見事業の実施</li></ul>
------	--



○第3期計画重点事業（令和3年度～令和5年度）

重点事業	<ul style="list-style-type: none"><li>(1)働き盛り世代の介護者を支える新たな地域福祉活動の取組み</li><li>(2)学校と地域をつなぐ福祉教育共同推進事業</li><li>(3)福祉の理解を深めるためのふくしフェスティバルの実施</li><li>(4)世代を超えて未来へつながるボランティア活動の促進</li><li>(5)身近な地域のイベントやサロン活動のあり方を考える調査研究</li><li>(6)マンションと連携した地域づくり</li><li>(7)地域福祉のさらなる充実を目指した地域支援者同士の連携強化</li><li>(8)災害時の助け合いを実現するための見守り体制の構築</li><li>(9)権利擁護事業の研修会の実施と担い手の拡充</li><li>(10)人生を自分らしく生き抜くためのサポート事業</li></ul>
------	---



各事業の数値目標が達成できるように職員一丸となって頑張ります。

## 社会福祉法人のネットワークの構築

社会福祉法の改正により、社会福祉法人は「地域における公益的な取組み」が責務として規定され、各法人では地域公益事業の実施について、模索が続いています。社会福祉法人・福祉施設が、法人同士の「顔の見える関係」をつくり、それぞれに有する専門性を、どう地域へ活かすかなど情報交換の場をつくるため、『大野城市社会福祉法人連絡会』としてネットワークの構築を行い、分野が違う社会福祉法人相互の連携・協働の取組みを進めています。

	平成 29 年度	30 年度	令和元年度	2 年度	3 年度
主な内容	ネットワーク会議（連絡会の発足準備）開始	社会福祉法人連絡会設立総会 実務者会議開始	総会 定例会 実務者会議 研修会 （テーマ防犯）	総会 定例会 ふくしんぼ「コロナ禍でもがんばる特集」に会員法人掲載	総会 定例会
会員法人数		14 法人 15 施設	13 法人 14 施設	13 法人 16 施設	13 法人 16 施設

法人名	施設名 (令和 3 年度現在)
1 悠生会	特別養護老人ホーム 悠生園
2 つくし福祉会	特別養護老人ホーム はなつくし
3 さつき会	はまゆうワークセンター大野城
4 福岡コロニー	福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園
5 慶和会	まどか園
6 福岡あけぼの会	みざわ工房
7 野の花学園	大野城市障がい者支援センターまどか・ゆいばる 第三野の花学園
8 仁風会	救護施設 仁風園
9 大楠会	平野保育園 おおり保育園
10 赤い鳥保育会	やさしい保育園 たのしい保育園
11 神生会	南ヶ丘保育園
12 あけぼの福祉会	みずほ保育所
13 大野城市社会福祉協議会	

各法人の理念や取組みを学び合い、専門性を活かして、福祉課題に向かい合っていきたいです。



# 生活支援体制整備事業

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしをできるだけ長く続けていくために必要な「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が包括的・一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

「生活支援体制整備事業」とは、地域包括ケアシステムの構築を進めて行く事業のうち、日常生活の支援および介護予防にかかる体制の整備、これらを促進する業務であり、平成27年4月の介護保険改正により、地域支援事業に位置づけられた新しい事業です。平成28年6月より、市受託事業として地域包括ケアシステム構築に係わる「生活支援体制整備事業」を実施しています。

## ○平成28年度以降の「生活支援体制整備事業」に係わる大野城市の主な活動状況

平成30年4月	第1層協議体「もやいネット大野城」を設置
9月	高齢者の役立つ情報冊子「暮らしのもやい帳」初版を発刊
平成31年3月	第2層協議体モデル地域として南コミュニティに設置
令和2年3月	東コミュニティ(第2層協議体)設置
11月	北コミュニティ(第2層協議体)設置
12月	「暮らしのもやい帳」第3版を発刊
令和3年1月	中央コミュニティに設置(第2層協議体)設置
2月	4コミュニティに第2層協議体が設置されたことを契機にスクラムフォーラムを開催



【第3版暮らしのもやい帳】

## ○令和2年と3年度の各協議体開催状況 ※( )は各コミュニティ運営協議会

協議体	協議体名	令和2年度	令和3年度
第1層協議体	もやいネット大野城	3回	4回
第2層協議体	もやいネット南(南コミ)	3回	4回
	福祉包括ケアシステム実行委員会(東コミ)	1回	5回
	北地区包括ケアシステム協議会(北コミ)	設置	5回
	まどかネット(中央コミ)	設置	2回



「地域支えあい推進員」生活支援コーディネーター略称SC(エスシー)として、地域の「あったらいいな」の発見と調査と支援、そして必要な人や物へのコーディネートを行っています。

# 広報

## (1)社協だより「ふくしんぼ」

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより ふくしんぼ」を発行しています。2019年まで偶数月に発行しており、回覧板でまわしていただくなどの方法で配布していましたが、2020年4月号より全戸配布となり、紙面の様式はタブロイド版に替わりました。今後もより多くの方に親しんでいただける紙面づくりを行っていきます。現在は、4月、9月、11月、2月に発行しています。

[広報・啓発活動 - 社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会 \(onojo-vc.jp\)](http://onojo-vc.jp)



2012年4月号 (A4 サイズ)



2022年4月号 (タブロイド版)

※タブロイド版=A3 サイズより少し小さいサイズ感です



これからも“つくし”のように深く地域に根付く「ふくしんぼ」になるよう頑張ります！  
こんなことが知りたい！こんなことを載せて欲しい！等 プレゼントクイズコーナーにてご意見お待ちしております。

## (2)ホームページ等による情報発信

大野城市社会福祉協議会では、ホームページを2004年に開設し、2010年に一度目のリニューアル、2021年に2度目のリニューアルをしました。

高齢の方や障がいのある方をはじめ、大野城市社協に関わりがあるすべての方にとってわかりやすく、使いやすくなるよう情報を更新していきます。



## (3)Twitter、Facebook、LINEによる情報発信

2012年から、SNS(Twitter・Facebook)を活用し、東日本大震災や熊本地震などの災害ボランティアセンターや災害支援情報をはじめ、地域福祉活動やボランティアの啓発に取り組んできました。現在は、Twitterを毎日更新し、社協情報を発信しています。

さらに2021年9月には大野城市社協公式LINEを開設し、ホームページの新着情報などをいち早くお届けできるようになりました。ふーちゃんのLINEスタンプもありますのでぜひご利用ください。

Twitter [大野城市社会福祉協議会 \(@onjFuchan\) さん / Twitter](#)

Facebook [社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会 | Facebook](#)

LINE <https://lin.ee/Ni87tey>



Twitterは職員が日替わりで更新しています。社協を身近に感じていただけるような目線で情報をお届けしますので、お楽しみにしてください♪

## リフトカー運行事業

大野城市にお住まいの方に対して、車いすやストレッチャーのまま乗ることができるリフトカーを運行しています。通院やリハビリだけでなく、買い物や日帰り旅行などにもご利用いただけます。

社協では、リフトカー利用登録の受付と運行管理を行っています。

### ○令和3年度実績

登録者数 56人

延べ利用者数 593人（うち、ワクチン接種のための利用者数 25人）

運行日数 251日

### 登録者数、利用者数、運行日数

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
登録者数	73	62	50	48	43	45	41	40	42	56
延べ 利用者数	647	515	320	342	399	391	309	371	388	593
運行日数	269	259	211	221	228	235	193	233	217	251



リフトカーを活用することで、車いすでも外出しやすくなると嬉しいです。また通院だけでなくリフレッシュや社会参加の手段としてどんどん活用してください！



# 福祉バス運行事業

福祉バスは、大野城市の福祉活動を行う団体を支援することを目的として運行しており、視察研修やミニデイ（地域の高齢者交流の場）などに利用していただいています。社協では、福祉バス利用申込み受付と運行管理を行っています。

## ○令和3年度実績

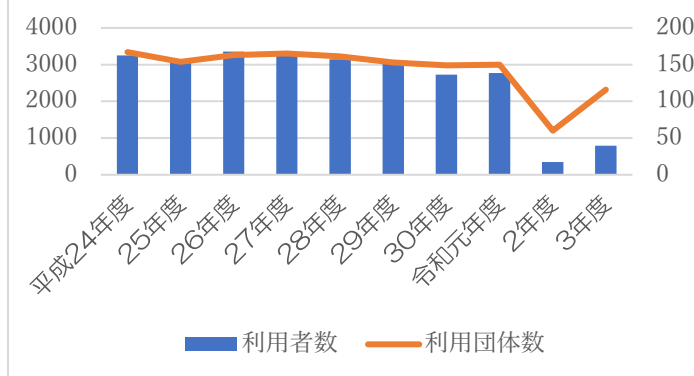
延べ利用者数 795人  
 利用団体数（運行日数） 116団体（日）  
 コロナウイルスの影響で  
 キャンセルになった団体数 86団体



## 利用者数、運行日数

	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
利用者数	3246	3047	3354	3281	3143	3075	2726	2771	346	795
利用団体数	167	154	163	165	161	153	149	150	60	116

福祉バス 利用者数・利用団体数



地域の福祉活動や、高齢者のミニデイ、障がい者・ボランティア団体の活動にご利用ください。令和3年に車両も新しくなりました。これからも安全安心に運行してまいります。

## 福祉用具貸出し事業

在宅福祉増進を図ることを目的に、市内にお住まいの社協会員になっていただいた方に対し、福祉用具の短期間貸出しを行っています。在庫に限りがありますので、お問い合わせください。

社協では、車いす貸出しの受付管理、電動ベッド貸出しの受付、貸出し業者と搬入搬出調整を行っています。

### ○令和3年度実績

車いす貸出し件数 73件

電動ベッド貸出し件数 3件

### 貸出し件数

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
車いす	75	103	77	95	120	127	135	103	65	73
電動 ベッド	11	6	9	9	5	3	3	4	6	3



介護保険申請中の方や、施設などからの一時帰宅、ケガで一時的に利用したい時など、お気軽にご相談ください。



# 福祉用具リサイクル事業

ご家庭で不用になった福祉用具を市民が交換などを円滑に行うための必要な斡旋を行い、不用品の有効利用を図るとともに、リサイクル及びゴミを減らす運動の一助として推進しています。

社協では、リサイクル登録の受付、周知、譲渡までの管理を行っています。

## ○令和3年度実績

リサイクル登録件数 0件

登録品の譲渡件数 0件

## リサイクル登録件数、譲渡件数

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
登録 件数	4	1	10	4	3	1	3	0	1	0
譲渡 件数	—	—	4	3	3	1	2	0	1	0



入所などで利用しなくなった電動ベッドや車いすを、必要とされている方に繋いでいきます。



# ハンディキャブ貸出し事業

大野城市にお住まいの方に対して、車いすのまま乗ることができるハンディキャブ（軽自動車）を貸出します。通院やリハビリだけでなく、買い物や日帰り旅行などにもご利用いただけます。

社協では、ハンディキャブ利用登録の受付と貸出し管理を行っています。

## ○令和3年度実績

登録者数 32人  
延べ利用者数 93人（うち、ワクチン接種のための利用者数 18人）  
運行日数 77日  
運転ボランティアが運転した件数 50件

## 平成24年度以降の登録者数、利用者数、稼働日数、運転ボランティア活動件数

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
登録者数	48	49	39	33	36	41	30	39	31	32
延べ利用者数	34	257	228	191	226	205	176	196	100	93
稼働日数	345	257	228	191	226	205	176	196	86	77
運転Vo 活動件数	166	115	63	68	53	50	34	39	54	50

※運転ボランティアむつわは令和3年度をもって活動を終えられました。



車いすでお出かけされる際は、ぜひご家族でハンディキャブをご利用ください！

## 知的障がい者福祉対策事業

### ～ふれあいの旅～

ふれあいの旅とは、ハンディを持つ参加者とボランティアがペアになり時間を共有することで、お互いの成長につながる旅です。また、参加者の保護者にとって休息の時間を設けることができます。

100名以上の参加者、ボランティアとともに1泊2日の旅として続いてきましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症を考慮し、日帰りの旅として4回に分けて実施しました。

第30回	2012年（平成24年）	ユニバーサルスタジオジャパン
第31回	2013年（平成25年）	宇宙科学館・どんぐり村・りんご狩り
第32回	2014年（平成26年）	重源の郷・パラボラ館・海響館
第33回	2015年（平成27年）	オランダ坂・凧づくり・ハウステンボス
第34回	2016年（平成28年）	海峡ミュージアム・大内塗箸作り・みかん狩り
第35回	2017年（平成29年）	優峰園・阿蘇ミルク牧場・トロッコ列車
第36回	2018年（平成30年）	みかん狩り・石ころたちの動物園・城島高原パーク
第37回	2019年（令和元年）	有田ポーセリンパーク、九十九島水族館、遊覧船
第38回	2020年（令和2年）	グリーンピアなかがわ（日帰り）
第39回	2021年（令和3年）	かしいかえん（日帰り）

毎年皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。また、毎年新たな出会いがあるのもふれあいの旅の魅力です。



# 子育て支援事業

## (1) 登録子育てサークル

支援内容：総合福祉センターの利用料免除、福祉バスの利用及び遊具の貸出  
子育てサークル活動費補助

### ◇登録子育てサークル

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
サークル数	5	5	5	8	7	6	5	4	4	4
会員数	123	99	123	153	126	112	79	57	98	80

## (2) 「子育てサークルだより」の発行

主旨：安心して子育てできる環境を目指し、地域のサロンや、登録サークルの活動内容や市内外の子育て支援に関する情報などを発信しています。

発行：年6回（偶数月）発行

## (3) 子育てサポーター ための支援

平成17年より、大野城市へ転入された子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報を提供する場として子育てサロンや季節イベント、出前子育て支援活動などを行ってこられましたが、令和3年度をもってその活動を終了されました。

内容	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
子育て サロン(組)	43	22	17	6	9	28	18	8	3	13
イベント 参加組数	54	70	73	39	40	42	40	23	13	9
講演会 参加組数	—	—	13	19	34	18	15	8	—	—
研修回数	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—

#### (4) 保育所に遊具等の助成

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を行なっています。

平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
のぞみ 愛児園	みずほ 保育所	大城 保育園	平野 保育園	乙金 保育園	リズム 保育園	やさしい 保育園	おおり 保育園	ひじり 保育園	たのしい 保育園

#### (5) 遊具の貸出状況

子どもの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っています。

	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
貸出 件数	—	—	95	111	136	86	76	48	3	8

#### (6) 子育て支援者関係構築

日ごろ子育て支援活動をされる方々が、活動の思い・悩みを語り合い、情報交換や顔のみえる関係構築につながることを目的として令和元年に「Link～子育て支援つながろう会」を実施。

コロナ禍で減少していた子育て支援を、地域や関係機関と情報をつなげ盛り上げていきます。



# 福祉教育推進事業

## (1) 学校における福祉教育

主に小学校からの依頼を受け、ボランティア・障がいのある方や社協の職員などがゲストティーチャーとなり、子どもたちと一緒に福祉やボランティア活動について学習をしています。交流や体験活動をとおして、さまざまな人と出会うことで、子どもたちひとり一人がそれぞれの「ふくし」を学んでいきます。



令和3年度実績

福祉教育の実施回数 27回/年

参加生徒人数 3,224人/延べ

年度	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
実施回数	—	27	32	33	26	25	32	36	25	27
生徒人数	—	1130	1110	1159	983	2824	3556	3972	3006	3224

## (2) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

福岡県社会福祉協議会の編集・活用推進委員会に本会職員が委員として参加した。平成27年6月発行され、大野城市では主に小学校3・4年生を対象に配布し、活用している。

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
配布先	校長会 及び担任	1校 (推進校)	1校 (推進校)	10校	10校	10校	10校
使用学年	—	1学年	1学年	10学年	11学年	12学年	12学年
申込数	1000	1000	680	1300	1300	1300	1500



※令和元年度より無料



### (3) 福祉教育基礎研修会

平成25年度から、福祉教育の意義や理念を、教職員並びに地域の福祉関係者が共に学ぶことを目的に開催しています。

日時	内容	講師
平成25年8月6日(火) (会場：総合福祉センター)	「福祉教育の意義とこれからのまちづくり」	長崎市ウエスレヤン大学 教授 中野 伸彦 氏
平成26年8月7日(木) (会場：総合福祉センター)	①「効果的な福祉教育を目指して」 ②福祉教育実践報告(下大利小)	学習院大学 教授 長沼 豊 氏
平成27年8月5日(水) (会場：総合福祉センター)	①「ともに生きる力を育む福祉教育」 ②福祉教育教材「ともに生きる」の活用について	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
平成28年8月24日(水) (会場：総合福祉センター)	「学校・地域における福祉教育の推進」	大阪教育大学 准教授 新崎 国広 氏
平成29年8月9日(水) (会場：総合福祉センター)	「学校と地域・家庭をつなぐ福祉教育 ～学校・家庭・地域が協働する意義と可能性～」	大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏
平成30年7月30日(月) (会場：まどかびあ多目的ホール)	①「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会 の実現を目指した福祉教育」 ②第1期福祉教育推進校 大野小学校実践報告	大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏
令和元年8月2日(金) (会場：総合福祉センター)	①「福祉教育のこれまでと、未来につなぐ福祉教育 の取り組み ～地域・学校・家庭が連携した福祉教育 の実践～」 ②福祉体験・特別支援教育講座 ③第2期福祉教育推進校 大野北小学校パネル 展示	大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏
令和2年度	新型コロナウイルスにより中止	
令和3年度 (オンラインによる限定配信)	①「学校と地域をつなごう ～子どもたちを取り巻く 課題共有と学校・家庭・地域の協働による福祉教育～」 ②シンポジウム「オンラインを活用した福祉教育 の実践」	大阪教育大学 特任教授 新崎 国広 氏

### (4) 福祉教育推進校の協働事業

平成28年度から、大野城市教育委員会及び大野城市小学校校長会で協議の上、福祉教育推進校を選定している。福祉教育教材「ともに生きる」を活用し、福祉教育の普及啓発につなげる。選定期間は1期2か年。

第1期 (平成28年度・29年度)	大野小学校4年生
第2期 (平成30年度・令和元年度)	大野北小学校3年生・4年生
第3期 (令和2年度・令和3年度)	大野南小学校4年生

## 介護者支援事業 ～介護者のつどい～

ご家族の介護をされている方同士の交流や情報交換の場として、介護者のつどいを実施しています。従来は「在宅介護者のつどい」とし、自宅で介護されている方を対象としていましたが、令和元年度からは「介護者のつどい」とし、対象者の幅を広げ、様々な状況の方が意見交換できるようにしました。

また、日帰りのリフレッシュ事業としてバスハイク（日帰り旅行）を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度よりバスハイクではなく、介護者同士が集まってコロナ禍での不安や悩みを共有できる場、介護職員に相談できる場を設けました。今後も介護をされている皆さまが求めていることに耳を傾けながら、新しい内容を検討していきます。

2012年度（平成24年度）	11月7日(水)	大分県由布院
2013年度（平成25年度）	3月14日(金)	キューピー工場見学、花立山温泉
2014年度（平成26年度）	3月12日(木)	道の駅宗像、宗像大社、天然温泉やまつばさ
2015年度（平成27年度）	3月17日(木)	八女伝統工芸館、べんがら村
2016年度（平成28年度）	3月17日(金)	さくらファーム、二丈温泉きららの湯
2017年度（平成29年度）	3月15日(木)	道の駅大和、古湯温泉ONCRI
2018年度（平成30年度）	3月7日(木)	日田市豆田町、原鶴温泉パーレンス小野屋
2019年度（令和元年度）	3月3日(火)	道の駅みやま、白柳荘、からたち文人の足湯（中止）
2020年度（令和2年度）	3月11日(木)	総合福祉センター、オンライン
2021年度（令和3年度）	3月12日(土)	ひょうたん島

介護の経験年数は人それぞれ。  
だからこそ話して共感できる  
ことがあると思います。同じ境遇  
の方とのつながりづくりができる  
場です。



# ふくしフェスティバル

市民参加を積極的に推進しながら、広く地域福祉に対する市民の認識と理解の高上を図ることを目的としたイベントです。

平成 27（2015）年度までは「大野城市総合福祉まつり」というイベント名で高齢者・障がい者福祉団体やボランティア団体、市福祉課と、企画実施していました。平成 28 年度からは企画から市民の方々にご参加いただくために、実行委員会を立ち上げ、「ふくしフェスティバル」として年度ごとに店出や出演、展示、来場者参加型イベントなどを企画実施しています。

## ○令和 3 年度

主催 大野城市ふくしフェスティバル実行委員会

共催 大野城市・大野城市社会福祉協議会

内容 ○ペットボトルキャップ収集によるワクチンの寄付 ○ペットボトルキャップベアの名前募集 ○ふくし川柳 ○ふくしほっこりエピソード ○パネル展  
○VTR 活動発表 ○クイズラリー  
※令和 3 年度に初めてオンラインと来場、どちらでも参加ができるようになりました。



## 来場者数

	平成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
来場者数 (概数)	2,100	2,300	2,100	2,500	3,000	3,500	7,500

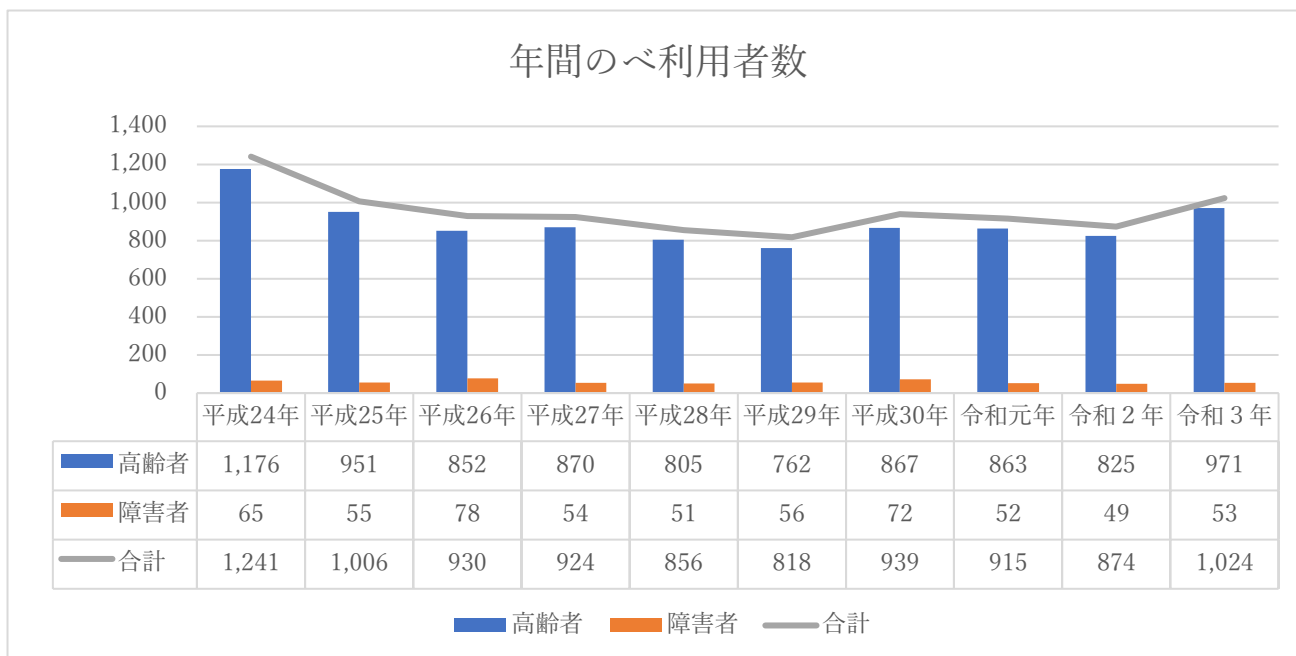
	令和 元年度	2 年度	3 年度
来場者数 (概数)	8,000	パネル展示・ペットボトルキャップ収集	オンラインイベント 来場型イベント（アンケート 191 件）

市民、事業所、団体、ボランティア、関係機関の方々と何を啓発していくか、市民ニーズは何かを考えながら、今後も楽しい企画をしていきたいと思いをします。



## 福祉食事サービス

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などへ1年365日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っています。この事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による写真を毎月お届けしています。



利用者の状況を把握し、各関係機関と情報を共有しながら安心してご自宅での生活が送れるよう支えていきたいと思っております。

# ボランティア活動推進

総合福祉センターの1階にある「おおのじょうボランティアセンター」を拠点に、たくさんのボランティアの方々が活躍されています。ボランティアセンターでは、ボランティアのご相談や情報発信、ボランティア保険加入手続きなどを行っており、どなたでもご利用できます。ボランティア情報は日々更新されますので、詳しくはホームページをご覧ください。[ボランティアについて - 社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会 \(onojo-vc.jp\)](http://onojo-vc.jp/)

## (1) ボランティアグループ

「大野城市ボランティア連絡協議会」は8団体、「おおのじょうボランティアセンター登録団体」は31団体あり、様々な分野で活動されています。

### ◆大野城市ボランティア連絡協議会

グループ名	活動内容
大野城手話の会	聴覚障がい者との交流定例会
点訳サークル あゆみの会	各種点訳活動、視覚障がい者との交流会、点訳講習会の開催
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ人とのレクリエーション活動
ボランティアグループ ききょう	食事サービス利用者への絵手紙づくりや、社会福祉協議会の事業へのお手伝い
おもちゃの図書館 あいあい	障がいがある子どももいない子どもも共に遊ぶ、おもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成
拡大写本 虹の会	弱視の人向けに依頼された図書を、大きな文字に書き直した「拡大写本」の作成、視覚障がい者との交流会
大野城要約筆記の会 ぴあ	聴覚障がい者に、話し手の音声をスクリーン、PC、タブレット、紙面上に文字で同時通訳する活動

## ～大野城市ボランティア連絡協議会を退会されたグループ～

2020年 西日本車椅子ダンスの会アミーゴス  
2021年 運転ボランティアむつわ



長年にわたり、多くの方々のおかげでござい  
本当にありがとうございました。



### ◆おおのじょうボランティアセンター登録団体

グループ名	活動内容
特定非営利法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業（調査、研究）
グループファンタジア	施設や敬老会などでのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動
創人エイサー 守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベントなどでの演舞
大野城市 国際交流協会	身近な国際交流、草の根レベルでの国際協力を目指し、子どもから大人まで国籍を超えて楽しく異文化相互理解を目指した交流ができる場づくり
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理
花の芽クラブ	障がいのある人とない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通しての交流活動及び普及活動
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設などで唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動
大野城傾聴ボランティア 「ダンボ」	大野城市内の施設や個人宅においての傾聴ボランティア活動
大野城学習支援室 かぼちゃ	理由を問わず、学習塾に通えない子どもたちのための家庭学習と食事（軽食）の支援
おやのかい MIRAI	発達障がいの子どもの保護者、発達障がいに理解ある者が会員となり、発達障がいの子どもの安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動
にほんご教室 きんしゃい	留学生などの外国人に日本語を教え、学習することを通して国際交流を図り会員相互の理解を深める活動
演歌しゃくなげ	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、懐メロ音楽を演奏
マジック雅	マジックを通じた地域の人々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動
シニアネット オーケストラ	施設等での童謡、唱歌、懐メロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動
いきいき健康 レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動（エクササイズ）や昔懐かしい歌を取り入れた運動
Blue Bear Project	高齢者施設でのふれあい演奏会やステージイベントでのライブ演奏、フラチーム（別団体）と合同のステージ
なんくるーず	デイサービスや高齢者施設、公民館等での三線を使った沖縄民謡や童謡等の演奏、歌や踊り、手品を披露
えがおの会ハレハレ ～hare*hale～子どもの居場所	様々な理由で学校に行けない、又は自分の居場所がないと感じる子どもの居場所をつくる活動
災害ボランティア 「ONOJO」	講習会や災害ボランティアセンター設置運営訓練等災害ボランティアとして必要な知識やスキルを学びながら支援の輪を広げる活動
MELODY	高齢者施設や放課後等デイサービスなどでのフルート演奏

ハーモニカ風の会	施設や地域のイベントなどでのハーモニカ演奏やスキルアップのためのハーモニカ教室
絵本箱	プロジェクターや効果音を用い、多世代で楽しめる絵本の読み聞かせ
防災ほっとキッチン	災害時における移動式かまどでビニール袋による調理の普及活動や HUG ゲーム（避難所運営ゲーム）の普及活動
とっ・とー・たい	会員の経験と知識を活かし、他人や社会に貢献する活動
スペース虹	学校に行けない子どもたちや生活が厳しい家庭の子どもたちの居場所を開設し、食事や学習等を支援し、生活の場を提供する活動
認定NPO法人チャイルドケアセンター	こどもたちを中心に、様々な地域の方が多世代に亘り集い、交流する場（こども食堂やフードパントリー等）を提供する活動
大野城まどかぴあ図書館 ブックトークボランティア「本のとびら」	小中学生へ1つのテーマに沿った本を紹介し、読書の楽しさを知ってもらう活動
Colorful+HappyFull	不登校児を抱えるご家庭への訪問・カウンセリングや、様々なプロと繋がるためのサポート活動
スマイルフレンズ	子育てする親子が、毎回1つのテーマに沿って共感し合いながら友だち作りができる場、情報を提供する場
上大利翔劇団	個人の芸の向上と相互の親睦を深め、日頃努力された結果を披露しながら、お年寄りへの憩いのひとときを提供する活動

## (2) ボランティアエントリーシステム

大野城市社会福祉協議会ホームページより、気軽にボランティア活動に参加できる仕組みとして2015年（平成27年）に運用がスタートしました。

	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
メニュー件数 (種類)	1	17 (9種)	32 (13種)	67 (14種)	30 (11種)	9 (5種)	8 (5種)
エントリー数 (延べ)	0	39	29	27	8	9	42



[ボランティアエントリーシステム](#)

[社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会 \(onojo-vc.jp\)](http://onojo-vc.jp)

## (3) ボランティアセンター運営委員会

平成20年度よりボランティアセンターの活性化を目的に、関係団体へ呼びかけ、協力をいただきながらボランティアセンター運営委員会を設置しています。大野城市のボランティア情報の発信を行い、もっと人が集まる、また、開かれたセンターを目指して活動をしています。また、毎年「おおのじょうボランティアのつどい」企画・運営も行っています。

## (4) 学生版ボランティアセンター運営委員会 (Young Free Helper)

学生ボランティアの増加やボランティア活動について幅広い世代に知ってもらうことを

目的に、学生目線でボランティア活動について考えるため、令和3年5月に発足しました。12月には小中学生を対象としたイベントを、ボランティアセンター登録団体と協力し、実施しました。また、令和4年3月にはInstagramを開設し、活動状況を発信しています。アカウントはこちら→<https://instagram.com/yfh351?igshid=YmMyMTA2M2Y=>

### (5) おおのじょうボランティアのつどい

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図ることを目的に開催しています。ボランティア同士の情報交換会として「ふーちゃん・カフェ」が平成24年度に初めて開催され、平成27年度から「おおのじょうボランティアのつどい」に名称を変更しました。東日本大震災発生から10年の節目を迎える令和2年度までは3月11日につどいを開催し、14時46分に黙とうを捧げました。

2012年度(平成24年度)	3月24日(日)	ふーちゃん・カフェ ～おおのじょうボランティアセンター利用登録団体・個人の情報交換会～
2013年度(平成25年度)	3月22日(土)	ふーちゃん・カフェ ～おおのじょうボランティアセンター利用登録団体・個人の情報交換会～
2014年度(平成26年度)	3月21日(土)	ふーちゃん・カフェ ～おおのじょうボランティアセンター利用登録団体・個人の情報交換会～
2015年度(平成27年度)	3月11日(金)	地縁×テーマ=〇〇！？ 立場を超えて何かが生まれる！？
2016年度(平成28年度)	3月11日(土)	地縁×テーマ=〇〇！？ 立場を超えて何かが生まれる！？
2017年度(平成29年度)	3月11日(日)	ボランティアの価値ってなんだろう？
2018年度(平成30年度)	3月11日(月)	ボランティアのこれからってなんだろう？
2019年度(令和元年度)	3月11日(水)	あったらいいな、こんなボランティア～これからの大野城市考える～
2020年度(令和2年度)	3月11日(木)	困難を乗り越えるボランティア
2021年度(令和3年度)	3月12日(土)	感謝 ～つながり よりそう これからも～



ボランティアをやってみたいけど何ができるだろうかと悩んだときは、いつでもボランティアセンターにお越しください♪





## 被災地支援活動

---

東日本大震災をはじめ、熊本地震や九州北部豪雨など、近年福岡県内外で発生している自然災害時には、被災地から求められているニーズに沿って、これまで様々な形で支援に取り組んでまいりました。

【平成24年度から令和3年度までのおもな被災地支援活動】

### ★災害ボランティアセンターへの職員派遣

被災地へ職員を派遣し災害ボランティアセンター運営支援をおこないました。

#### 平成24年度 東日本大震災（平成23年度より）

- ・福島県南相馬市災害ボランティアセンター

#### 平成24年度 平成24年7月九州北部豪雨災害

- ・大分県日田市災害ボランティアセンター
- ・うきは市災害ボランティアセンター
- ・柳川市災害ボランティアセンター
- ・八女市災害ボランティアセンター

#### 平成25年度 山口県豪雨災害

- ・山口県萩市災害ボランティアセンター

#### 平成28年度 熊本地震災害

- ・熊本県益城町災害ボランティアセンター
- ・熊本県西原村災害ボランティアセンター

#### 平成29年度 平成29年7月九州北部豪雨災害

- ・朝倉市災害ボランティアセンター
- ・東峰村（宝珠山）災害ボランティアセンター

#### 令和元年度 令和元年度8月豪雨災害

- ・佐賀県武雄市災害ボランティアセンター

### ★福祉避難所へのホームヘルパー派遣支援

平成28年度の熊本地震による福祉避難所での支援に職員を派遣しました。

- ・熊本県御船町観光交流センター

### ★南相馬っ子ふれあい交流プロジェクト事業（平成24年8月20日～23日）

原発事故により全国に避難している子どもたちを大野城市に招待し、なかなか会えない仲間たちとの再会と思い出作りの場を設けることを目的として交流事業をおこないました。

### ★災害支援ボランティアバスの運行事業

ボランティアを募集して社協福祉バスを運行し、被災地にて災害支援ボランティア活動をおこないました。

平成28年度 熊本県益城町 参加ボランティア延べ43名

活動内容：避難所での清掃、物資の仕分け、物資運搬、集積所でのがれき運搬、仕分け等

平成29年度 福岡県朝倉市 参加ボランティア延べ23名

活動内容：個人宅の床下及び敷地内の土砂だし、家屋内の片付け、廃棄物運搬等

### ★被災地応援ツアー

被災地支援の方法のひとつとして、観光等をとおして応援する取り組みをおこなってきました。被災地の状況を目で見て耳で聞き、肌で感じることで知ることがたくさんありました。

平成24年度 福島へ行こう！相馬野馬追祭りと福行の旅（いわき市・南相馬市他）

平成25年度 東北応援ツアー（南相馬市・石巻市・女川町・東松島市）

平成26年度 東北応援ツアー（南相馬市・会津若松市・東京）

平成27年度 東北応援ツアー（南相馬市・名取市・平泉市・大船渡市）

平成28年度 東北応援ツアー（南相馬市・東松島市・日光市）

平成29年度 熊本復興応援の旅（益城町・阿蘇市）

令和元年度 東北応援の旅（南相馬市・名取市・女川町・大船渡市・南三陸町）

### ★被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

福島県の特産品や被災地応援グッズの代理販売をおこなっています。



困ったときはお互い様です。助け合いながら今後もできることを考えていきたいと思っています！

## 総合相談事業

一人ひとりの問題を地域の課題としてとらえ、解決しています。

大野城市社会福祉協議会では、一人ひとりが自分らしく、住み慣れた街で生活できるように、日常生活における心配ごと、悩みごとの相談窓口を設置しています。困ったときは気軽にご相談ください。日常生活に不安がある方の為の、生活福祉資金貸付の相談や特別な事情により、重要な判断・お金の管理などに不安がある方にも、福祉サービスの利用援助、日常金銭の管理、書類等の預かり支援を行っています。

### ふくし何でも相談 一般的な福祉相談

相談受付 月曜日～金曜日

受付時間 9:00～17:00 \* 電話相談も可能です。



#### 実績報告

年度	平成 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
相談件数	135	110	89	59	74	67	46	61

### 心配ごと相談 弁護士による無料の法律相談

毎月第1～第4火曜日 10:00～12:00 (受付 9:00) \* 一部予約可

毎月第1、第4火曜日 13:00～15:00 (受付 12:45) \* 一部予約可

※ご予約の場合は、事前に電話でお申し込みください。

※お申込みが多い場合、お断りさせていただくことがございます。

あらかじめご了承ください。

#### 実績報告

年度	平成 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
相談件数	190	189	218	200	222	236	191	223

**電話法律相談** 弁護士による無料の法律相談

ちょっとしたことから電話で尋ねたい、福祉センターまで行けないという方は、お電話で弁護士がご相談をお受けします。

毎月第2木曜日午前10時～正午（受付は午前11時40分まで）

TEL 092-501-7830 聴覚障がい者の方 FAX 092-593-5829

実績報告

年度	平成 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
相談件数	53	32	45	29	29	36	23	25



困ったことがあったらいつでも相談してくださいね。

## 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者・高齢者世帯へ必要目的に応じた貸付制度（福岡県社会福祉協議会受託事業）の受付窓口として相談支援をしています。

平成 20 年に起きたリーマンショックにより失業等に伴う相談、貸付件数が増加し平成 22 年度にはピークに達したが経済情勢の回復、雇用情勢の改善もあり相談、申込件数は減少傾向にあります。

子どもの進学時における教育支援資金貸付においても日本学生支援機構の奨学金の拡充に伴い、相談、申込件数も減少傾向にあります。

令和 2 年 3 月よりコロナウイルス感染症の拡大に伴う特例貸付の相談、申込が開始。緊急事態宣言といったこれまでに経験のない事態の中で、収入の減少、休業者、失業者が相次ぎ令和 2 年度は 1700 件を超える相談、1600 件を超える申し込みとなっています。

平成 24 年度以降の相談・申込件数

	平成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和 元 年度	2 年度	3 年度
相談件数	332	213	197	173	135	214	143	150	1715	1025
申込件数	158	90	89	97	98	113	74	79	1638	828



この制度は、貸付を通して生活の安定を図ることを目的としています。  
困ったことがあったらいつでも相談をしてください。

# 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者の方で判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活を送れるよう、社協に生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理、書類等（預貯金通帳）の預かり等のサポートを行っています。

[日常生活自立支援事業パンフレット.pdf](#)

## ○令和3年度実績

新規相談件数 18件（男性8件 女性10件）

新規利用者数 9名

専門員 2名 生活支援員 10名

## 平成24年度以降の利用者件数

	平成 24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和 元 年度	2 年度	3 年度
利用者数	11	12	15	20	24	22	29	26	29	27
活動回数	146	200	325	245	399	395	476	554	448	602



地域で自立した生活を送れるように専門員、生活支援員が協力し皆さんの生活をサポートしていきます。

## 法人後見事業

成年後見制度とは家庭裁判所が選任した後見人などが本人に代わって、施設への入所手続や不動産の管理などの法律行為をおこないます。後見人には親族、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による第三者や法人がなっています。社会福祉協議会では、法人として、後見人などをおこなう「法人後見事業」を実施しています。

- 平成28年 4月 権利擁護推進準備室設置
- 平成29年 1月 法人後見運営委員会の初回開催
- 平成29年 4月 権利擁護課設置
- 平成29年 7月 保佐人として活動開始
- 平成30年1 1月 後見人として活動開始

### ○令和3年度実績

- 法人後見受任件数 2件（保佐類型1件・後見類型1件）
- 後見運営委員会 2回開催

平成28年度以降の利用者件数

	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
利用者数	0	1	2	2	2	2



利用者の気持ちを確認しながら、お金の使い方やいろいろな契約・手続をお手伝いしていきます。

## ライフレスキュー事業

社会福祉法人の公益事業として県下で進められている生活困窮者等に対する相談・支援事業である「ふくおかライフレスキュー事業：主管福岡県社会福祉協議会等」に参加し、権利擁護事業の拡充を図ります。この事業に参画する市内の社会福祉法人及び市の関係部署とも連携を図りながら、緊急を要する人への食材支援、ライフラインの復旧などの経済的援助（現物給付）を行い、個別支援を強化します。

### ○令和3年度実績

ライフレスキュー事業としての活動実績はありませんが、(株)セブン-イレブン・ジャパンおよび市内の企業から寄贈して頂いた食品等を貸付相談者等に配布させて頂きました。来年度から新型コロナウイルス特例貸付の償還業務が開始される予定です。そのことに伴い、市町村社協としての業務として、生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援を行う予定です。相談支援を行う中で、制度に繋がるまでの期間に支援が必要なケースもでてくると思われるので、必要に応じて対応を検討していきます。



社会福祉法人が連携し、各種制度やサービスに繋ぐ等、生活が安定するまでの支援を行います。



# 介護サービス事業

## ●事業内容

### 【介護保険事業】

指定居宅介護支援事業・指定訪問介護事業・指定訪問入浴事業

### 【総合事業】

訪問型サービス国基準

### 【地域生活支援事業】

移動支援・訪問入浴サービス事業

### 【受託事業】

赤ちゃんホームヘルプサービス・乳児家庭全戸訪問（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

### 【障害福祉サービス】

居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

### 【制度外事業】

ほっとサポート

○平成24年以降、度重なる制度改正に対し法令順守を徹底しつつご利用者さまの「できる力」を支えるため多角的な視点をもって支援させていただきました。

介護保険・障害福祉サービスなどの制度支援だけでなく地域共生社会を含めた視点を持ち、赤ちゃんから高齢者の方まで幅広い世代の生活課題に対応してまいります。

## ○事業の実績（利用者数）

		平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	令和 2	令和 3
介護 保険 事業	居宅サービスケアプラン（人）	1,385	1,419	1,388	1,292	1,166	1,074	933	813	676	641
	介護予防ケアプラン（人）	109	41	41	56	50	32	26	53	48	48
	指定訪問介護（人）	690	677	585	594	450	273	193	185	234	194
	指定介護予防訪問介護（人）	882	770	577	438	98	0	0	0	0	0
	指定訪問入浴（人）	50	61	33	55	57	52	49	55	70	65
	指定予防訪問入浴（人）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合 事業	総合事業ケアプラン（人）	0	0	0	0	27	27	19	11	12	12
	訪問型サービス国基準（人）	0	0	0	0	159	184	63	64	106	92
	訪問型サービスA（人）	0	0	0	0	90	106	198	150	0	0
障害 福祉 サー ビス 事業	居宅介護（人）	313	290	266	276	268	276	291	310	292	289
	重度訪問介護（人）	0	0	0	0	0	0	18	32	22	13
	行動援護（人）	19	14	10	12	12	7	9	9	8	6
	同行援護（人）	3	29	45	36	31	29	23	18	18	17
	指定特定相談支援	0	0	0	169	283	265	295	189	0	0

高齢者支援	移動支援（人）	246	188	147	120	92	90	76	100	111	61
	訪問入浴サービス（人）	27	26	19	14	19	24	28	35	34	25
障害者支援	タイムケア事業（人）	448	455	401	271	185	204	154	119	33	0
	赤ちゃんホームヘルプサービス（人）	114	83	146	189	158	266	250	359	195	271
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	108	62	61	68	54	29	23	20	22	27
	訪問型サービスA（人）	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
制度外	ほっとサポート（人）	260	493	646	357	403	123	62	296	89	144

多様な地域課題に対し、利用者様の「出来る力」を後押しし専門職としての知識を持って支援いたします。



## ソーシャルワーク(社会福祉援助技術)実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

【令和3年度現在：実習時間（1名につき）24日以上180時間以上】

平成24年度から令和3年度までの実習生受入実績

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実習生総数	7名	5名	3名	7名	2名
受入大学等 (人数)	筑紫女学園大学 西南学院大学 福岡医療福祉大 学 北九州市立大学	筑紫女学園大学 西南学院大学 久留米大学 福岡教育大学	筑紫女学園大学 西南学院大学 九州保健福祉大 学	筑紫女学園大学 西南学院大学 久留米大学 県立広島大学	筑紫女学園大学 西南学院大学

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
実習生総数	3名	2名	1名	4名	3名
受入大学等 (人数)	筑紫女学園大学 久留米大学	筑紫女学園大学 西南学院大学	筑紫女学園大学	筑紫女学園大学 西南学院大学 ILP お茶の水医 療福祉専門学校	筑紫女学園大学 西南学院大学 九州保健福祉大 学



# 寄附受入事業

寄附は、地域福祉活動や在宅福祉サービス事業、ボランティア活動推進など大野城市社会福祉協議会が行う民間社会福祉事業に活用しています。

○平成 24 年度～令和 3 年度実績

## ①一般寄附・・・個人や団体の善意による寄附

	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和元
件数	47	69	49	60	54	55	72	66
金額	3,482,627	3,994,497	1,938,325	1,751,139	3,884,760	1,274,692	1,708,043	1,384,623
	2	3						
件数	50	44						
金額	4,891,265	2,062,057						

## ②香典返し寄附・・・故人並びに遺族の遺志による寄附

	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和元
件数	35	38	28	20	23	27	18	15
金額	2,367,440	2,464,580	2,786,170	1,734,920	2,061,868	1,043,013	1,017,862	840,000
	2	3						
件数	12	15						
金額	600,000	687,792						

## ③指定寄附・・・指定した事業に充てる寄附

	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和元
件数	4	2	1	1	2	1	1	2
金額	1,179,500	25,156	3,034,800	100,000	30,000	5,000	20,000	30,000
	2	3						
件数	2	0	※H27年 ハンディキャブ(ダイハツ軽車両 1台) ※H28年 休憩室親切工事(2,808,000円) ダイハツMAX中古軽車両					
金額	80,000	0						

## ④物品寄附・・・物品による寄附

	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3
件数	41	44	85	79	82	106	55	54	122	122



お預かりした物品寄附は社協へ相談に来られた方へお渡ししたり市内の福祉施設や福祉団体へ繋いでいます。コロナ禍の取組みとして、生活にお困りの方や学生さんや外国の方への食糧支援として“ふーちゃんパントリー”をおこないました。